



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月29日

上場会社名 菊水ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 6912 URL <https://kikusui-holdings.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 小林 一夫
問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長(氏名) 齋藤 士郎 TEL 045-482-6912
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	10,414	11.3	1,583	14.7	1,736	15.9	1,166	16.9
2025年3月期第3四半期	9,360	8.3	1,380	16.9	1,498	19.5	997	20.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,500百万円(102.1%) 2025年3月期第3四半期 742百万円(△17.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	140.17	—
2025年3月期第3四半期	120.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	18,121	15,150	83.6
2025年3月期	17,450	14,062	80.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 15,150百万円 2025年3月期 14,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	53.00	53.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	53.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	0.5	2,050	2.6	2,150	1.3	1,450	0.7	174.28

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2025年11月27日開催の取締役会決議に基づき、2025年12月22日付で1,100,000株の自己株式の消却を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該消却の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	8,800,000株	2025年3月期	9,900,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	472,561株	2025年3月期	1,590,719株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	8,320,176株	2025年3月期3Q	8,302,008株

(注) 当社は、2025年12月22日付で1,100,000株の自己株式の消却を行い、期末発行済株式数が1,100,000株減少しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境改善の動きが続く中、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米国の通商政策、日中関係悪化の長期化懸念、ウクライナや中東地域を巡る情勢不安、物価上昇の継続に加え、金融資本市場の変動、中国経済の停滞など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する電気計測器業界においては、世界各国でのカーボンニュートラル、SDGs達成に向けた取り組み等により、自動車関連市場や電池関連市場等において、また、AI(人工知能)の需要拡大に伴い、半導体関連市場やデータセンター関連市場等において設備投資の拡大が期待されております。

このような状況の中、当社グループは、「パワーエレクトロニクス分野の評価及び測定ソリューション」をテーマとして、eモビリティ、次世代エネルギー、パワー半導体、データセンターの4つの市場を重点市場として、国内外の顧客ニーズに合わせたソリューションビジネスを積極的に展開し、展示会への出展やWebを活用した販売促進活動等を進めるなど売上拡大に努めるとともに、原価低減にも努力を重ねてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、GX(グリーントランスフォーメーション)関連市場、車載関連市場、エネルギー関連市場、半導体関連市場及びデータセンター関連市場等の設備投資需要を取り込んだことにより、104億1千4百万円(前年同期比11.3%増)となりました。

損益面におきましては、海外製品の仕入コスト、ベースアップ等による人件費及び研究開発費の増加等はあったものの、売上高の増加により、営業利益15億8千3百万円(前年同期比14.7%増)、経常利益17億3千6百万円(前年同期比15.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益11億6千6百万円(前年同期比16.9%増)となりました。

当社グループは、電気計測器等の製造、販売を行っているものであり、セグメントは単一であります。したがって、セグメントごとに経営成績の状況は開示しておりません。

なお、当社グループにおける営業品目の製品群別売上の概況は、次のとおりであります。

《電子計測器群》

電子計測器群では、安全関連試験機器は、EV(電気自動車)用バッテリーの耐電圧・絶縁抵抗試験用として電池関連市場向けに好調に推移いたしました。航空用電子機器の測定器は、航空・防衛関連市場向けに好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は25億5千万円(前年同期比7.7%増)となりました。

《電源機器群》

電源機器群では、直流電源は、宇宙産業市場、車載関連市場、エネルギー関連市場、半導体関連市場及び電子部品市場への評価試験や製造設備用として好調に推移いたしました。交流電源は、車載関連市場、エネルギー関連市場及びデータセンター関連市場への評価試験や製造設備用として好調に推移いたしました。電子負荷装置は、車載関連市場、半導体関連市場及びデータセンター関連市場への評価試験用として動きが見られました。

以上の結果、売上高は74億5千1百万円(前年同期比13.2%増)となりました。

《修理・校正サービス等》

修理・校正サービス等につきましては、特記すべき事項はありません。

当該修理・校正サービス等の売上高は、4億1千3百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

上記に含まれる海外市場の売上の概況は以下のとおりであります。

《海外市場》

米国では、宇宙産業市場及びAI関連市場への直流電源並びにエネルギー関連市場への交流電源が好調に推移いたしました。

欧州では、航空宇宙関連市場への交流電源に動きがありましたが、全体的には低調に推移いたしました。

アジアにおいては、中国では、自動車関連市場の設備投資抑制の影響はあったものの、電池関連市場への安全関連試験器が好調に推移したことにより、前年同期を上回りました。また、韓国では、EV関連市場への直流電源が好調に推移し、東南アジアでは、データセンター関連市場への交流電源に動きが見られました。インドでは、EV関連市場及びデータセンター関連市場への交流電源が好調に推移いたしました。

以上の結果、海外売上高は38億3千3百万円(前年同期比12.3%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間における総資産は、受取手形及び売掛金が減少したものの、生産活動等による仕掛品の増加や投資有価証券の第3四半期期末時価の上昇による増加等により、前連結会計年度末に比べ6億7千万円増加し、181億2千1百万円となりました。

負債は、投資有価証券の第3四半期期末時価の上昇による繰延税金負債が増加したものの、支払手形及び買掛金の減少に加え、納税による未払法人税等の減少及び役員賞与の支給による役員賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ4億1千7百万円減少し、29億7千万円となりました。

純資産は、配当の実施により利益剰余金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び自己株式の消却等により、前連結会計年度末に比べ10億8千8百万円増加し、151億5千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の予想につきましては、本資料の公表時点において、2025年5月15日に「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

今後、業績予想において修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,716,583	4,867,487
受取手形及び売掛金	2,538,910	2,113,403
電子記録債権	597,753	783,392
有価証券	—	49,830
商品及び製品	1,364,602	1,223,319
仕掛品	555,764	969,336
原材料及び貯蔵品	1,650,696	1,405,105
未収消費税等	38,586	34,625
その他	126,130	156,995
流動資産合計	11,589,028	11,603,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	416,588	408,594
土地	1,454,495	1,454,495
その他（純額）	445,419	447,687
有形固定資産合計	2,316,503	2,310,777
無形固定資産	55,139	256,640
投資その他の資産		
投資有価証券	2,099,518	2,533,775
その他	1,392,102	1,418,414
貸倒引当金	△2,015	△2,015
投資その他の資産合計	3,489,605	3,950,174
固定資産合計	5,861,248	6,517,592
資産合計	17,450,276	18,121,089
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	950,465	621,281
電子記録債務	—	137,417
未払法人税等	528,592	346,254
賞与引当金	396,416	275,067
役員賞与引当金	104,900	—
製品保証引当金	11,062	12,141
その他	540,509	600,025
流動負債合計	2,531,945	1,992,186
固定負債		
退職給付に係る負債	12,847	13,633
その他	843,091	964,576
固定負債合計	855,939	978,210
負債合計	3,387,885	2,970,397

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201,250	2,201,250
資本剰余金	2,831,425	2,242,146
利益剰余金	8,604,425	9,330,241
自己株式	△877,405	△260,181
株主資本合計	12,759,695	13,513,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	986,985	1,242,092
為替換算調整勘定	232,814	330,974
退職給付に係る調整累計額	82,895	64,168
その他の包括利益累計額合計	1,302,695	1,637,236
純資産合計	14,062,391	15,150,692
負債純資産合計	17,450,276	18,121,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	9,360,679	10,414,687
売上原価	4,422,108	5,058,542
売上総利益	4,938,571	5,356,145
販売費及び一般管理費	3,558,247	3,773,070
営業利益	1,380,323	1,583,074
営業外収益		
受取利息	2,167	7,841
受取配当金	122,462	137,153
その他	12,800	22,033
営業外収益合計	137,430	167,028
営業外費用		
支払利息	3,398	5,078
為替差損	13,643	5,412
支払手数料	1,499	1,499
その他	1,188	1,597
営業外費用合計	19,730	13,588
経常利益	1,498,024	1,736,514
税金等調整前四半期純利益	1,498,024	1,736,514
法人税等	500,561	570,307
四半期純利益	997,462	1,166,207
親会社株主に帰属する四半期純利益	997,462	1,166,207

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	997,462	1,166,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△299,728	255,106
為替換算調整勘定	54,511	98,159
退職給付に係る調整額	△9,773	△18,726
その他の包括利益合計	△254,990	334,540
四半期包括利益	742,472	1,500,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	742,472	1,500,747
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2025年11月27日開催の取締役会決議に基づき、2025年12月22日付で1,100,000株の自己株式の消却を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ607百万円減少しております。

(連結の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間より、新たに設立したKIKUSUI ELECTRONICS INDIA PVT LTDを連結の範囲に含めております。当該連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。なお、この変更による当第3四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性に欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、電気計測器等の製造、販売を行っているものであり、セグメントは単一であるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	205,947千円	193,392千円